

母と女性教職員の会 全国集会

8月1・2日に東京のかつしかシンフォニーヒルズを主会場に、「子どもたちに平和な未来を〜護ろう 憲法 子どものいのち〜」をスローガンに開催され、高教組からは保護者2人を含む5人が参加しました。

1日めは、立教大学コミュニティ福祉学部RPD研究員の葛西リサさんによる「母子世帯の居住貧困」と題した講演を聞きました。衣食と並んで生活に不可欠な住宅は、福祉から切り離されているということです。自助努力による持ち家所有がほとんどの社会の中で、住宅問題は厚労省の政策課題にはなっておらず、住宅を社会保障に位置づけるという方向を見失ったままで、現在の格差社会に突入しているという現状を知ることができました。また、引き続き、「いつもいっしょに」「くまのこうちょうせんせい」などの著書を持つ絵本作家でシンガーソングライターのこんのひとみさんのトーク&ライブで、泣いたり笑ったりしながら、人と人との

つながりや平和のありがたさを再認識しました。

2日めは、平和、環境、健康の問題、食の問題、ジェンダー平等、女性労働等の15分科会に分かれ、問題提起をもとに討議しました。全国各地から集まった参加者による問題提起によって、各地でのとりくみを知ることができました。保護者の方からも「貴重な機会を得た。」「先生方が平和運動にとりくんでいることを知って良かった。」という感想が聞かれました。保護者の方の参加は、ハンカチカンパによって旅費等が支えられています。参加した保護者の方もハンカチカンパに協力していただきました。お二人は「ハンカチを見てこの大会を思い出します。」とお話されています。このとりくみは、「母」と「女性教職員」に限定されるものではなく、全ての人に関わる平和と人権の運動です。

今年もたくさんのハンカチカンパへのご協力ありがとうございました。



岩手県からの参加者



開会行事の様子

ハンカチカンパ ありがとうございました

今年度は1,350枚というたくさんのご協力をいただきました。このカンパが、母女の平和・人権運動をサポートしています。お手元のハンカチは、平和・人権運動に貢献していることの証です。

今年も、高退連からたくさん協力がありました。「現職と一緒に平和運動にとりくみたい。」と熱いメッセージも届いています。多くの皆様のご協力に感謝します。



高退連の吉田会長と
駒井副事務局長